

委員会	国際委員会
委員長	深沢 栄治 (㈱光彩工業 代表取締役社長)
<h3>1. 活動目的</h3>	
<p>人口減少が続き、既存市場が縮小していく日本の企業にとって、事業の「国際化」は最重要テーマのひとつとなってきました。特に「現地で自社コンテンツを販売をする」「現地で資金を調達する」「現地コミュニティへの同化」この3点については、これから多くの日本人経営者がチャレンジしていくべきテーマとなるでしょう。</p>	
<p>国際委員会は、この3テーマを軸に、他の委員会・研究部会とのコラボレーションを通じてより多くの会員に、自らの「国際化」を目指して頂くことをテーマとします。</p>	
<h3>2. 活動内容</h3>	
<p>■訪問地域候補として、「ベトナム」「ドバイ」「ロシア」「ニューヨーク」などを候補地とする。</p>	
<p>■訪問地域について、有力なテーマを絞り、国内で事前学習を実施し、現地にて交流会や講演会を実施する。</p>	
<p>■テーマに関連する各委員会・研究部会との共同開催（国内および訪問先にて）を実施し、できるだけ多くの会員企業にご参加いただく。</p>	
<h3>3. 活動実績 及び 成果</h3>	
<p>(1) 委員会</p>	
<p>◆日時 5月29日(金) 18:00~19:30</p>	
<p>◆内容 今年度の国際委員会の活動について（・学習会、・経済視察旅行について、・その他）</p>	
<p>◆参加 12名</p>	
<p>(2) 学習会（会場は全てNBC会議室）</p>	
<p><第1回学習会></p>	
<p>◆日時 5月13日(水) 18:00~19:30</p>	
<p>◆講師 真田 哲弥氏 (K Lab 株式会社 代表取締役社長CEO)</p>	
<p>◆演題 「iPhoneが拓く、日本に居ながらの海外進出」</p>	
<p>◆参加 31名</p>	
<p><第2回学習会></p>	
<p>◆日時 7月8日(水) 18:00~19:30</p>	
<p>◆講師 市川 知之氏 (株式会社パソナグローバル 取締役副社長)</p>	
<p>堀添 英人氏 (財団法人ユースワーカー能力開発協会 常務理事)</p>	
<p>◆演題 「サービス業における外国人雇用の実態～外国人雇用の成功事例から学習する～」</p>	
<p>◆参加 28名</p>	
<p><第3回学習会></p>	
<p>◆日時 7月31日(金) 18:00~19:30</p>	
<p>◆講師 陳 海騰氏 (バイドゥ株式会社 取締役)</p>	
<p>◆演題 「躍進する中国市場を狙え！～中国百度 (Baidu) による 2億人のネットユーザーへのマーケティング手法～」</p>	
<p>◆参加 26名</p>	
<p><第4回学習会></p>	
<p>◆日時 9月10日(水) 18:00~19:30</p>	
<p>◆講師 REIKO B. LYSTER 氏 (株式会社エル・インターナショナル 代表取締役社長)</p>	
<p>◆演題 「異文化の人々と仕事をするためにメンタルグローバル化への道」</p>	
<p>◆参加 25名</p>	
<p><第5回学習会></p>	
<p>◆日時 12月10日(木) 18:00~19:30</p>	
<p>◆演題 「北京・上海視察報告会！視察団メンバーから北京・上海の報告」</p>	
<p>◆参加 25名</p>	
<p><第6回学習会></p>	
<p>◆日時 2月9日(火) 18:00~19:30</p>	
<p>◆講師 田中 信彦氏 (「東洋経済特約記者」)</p>	
<p>◆演題 「深層中国 ～ 巨大市場の底流を読む」</p>	
<p>◆参加 27名</p>	
<p><第7回学習会></p>	
<p>◆日時 3月17日(火) 18:00~19:30</p>	
<p>◆演題 「㈱シェイプアップハウスの香港出店事例から学ぶ！」(仮)</p>	
<p>◆講師 下村 朱美氏 (シェイプアップハウス㈱)</p>	

(3) 北京・上海視察

◆日時 11月 6日(金) ~ 11月 11日(水)

◆参加 19名 (いばらきNBC会員2名を含む)

◆渡航費用 一人 17万円~20万円

◆目的 ・現地でのビジネスマッチング
・現地人材交流
・現地文化の学習

◆訪問先 北京：北京大学、北京デジタル娯楽発展有限公司（北京数字娯楽産業示範基地内）、北京富力広場、中華全国青年連合会（全青連）との夕食会
上海：上海万博会場、プラスチック再生工場和円商事、榊トヨウラ工場見学、不動産（マンション）見学、ベネッセコーポレーション、資生堂工場、上海和僑会との夕食会、田子坊見学。

【成果】

年間を通して全7回の学習会を行い、様々な角度から「事業のグローバル化」について学習できた。

会員内に講師をお願いし、相互啓発の形で学習を行った。

また今後グローバル化を考えた際に避けては通れない「中国ビジネス」については、外部講師を招き学習を深めることができた。

「北京・上海海外視察」では、香港に続いて上海和僑会との交流、「中華全国青年連合会」との「団体間交流に関する覚書」を交わすなど、今後拡がりのある成果を残すことができた。

以上